

報道関係者 各位

奥能登国際芸術祭 最涯の芸術祭、美術の最先端。  
「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクト “地域の宝” 収集活動のお知らせ  
実施日：2020年9月19日（土）

石川県珠洲市を舞台に2021年秋に開催予定の奥能登国際芸術祭で展開する、珠洲市民総参加型プロジェクト「珠洲の大蔵ざらえ」の民具収集活動を、下記日程で実施しますのでお知らせいたします。

今回の収集活動では「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクトで作品展開場所の展示計画を担う作家の南条嘉毅さんと、民具の分類など民俗学的観点からアドバイスをいただく国立歴史民俗博物館准教授の川村清志さん、プロジェクト全体の撮影・記録を担当する映像ワークショップの木村悟之さんと明貫紘子さん等も加わり、珠洲市内のお宅に眠る“地域の宝”の運び出しを行います。



### “地域の宝”収集活動について

活動日時：2020年9月19日（土）9:00～12:00（集合時間 8:30）※終了時間は前後する場合があります。

集合場所：珠洲市立大谷保育所（石川県珠洲市大谷町5-28-1）

活動場所：珠洲市立大谷保育所、大谷地区のお宅1軒（珠洲市清水町）

活動内容：事前に芸術祭事務局に申し込みのあったお宅や蔵に訪問し、民具等を収集し大谷保育所（一時保管場所）に搬入します。

今回は、珠洲市内の大谷地区のお宅1軒を訪問します。

参加者：珠洲の大蔵ざらえプロジェクトメンバー

- ・作家 南条嘉毅、大川友希、久野彩子、三宅砂織、竹中美幸、世界土協会(吉野)
- ・国立歴史民俗博物館准教授 川村清志
- ・映像ワークショップ 木村悟之、明貫紘子

珠洲市内ボランティアサポーター、地元青年団、(一社)サポートスズスタッフ、  
芸術祭事務局スタッフ

### ◆取材について

- ・大蔵ざらえプロジェクトメンバーや所有者への取材をご希望の場合は、事前にご連絡ください。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用をお願いします。

### ◆参考（8月20日現在）

珠洲市内のお宅37軒から民具約450点をお寄せいただいています。（唐箕、脱穀機、櫛(かい)、赤御膳、火鉢等々。）今後も随時申し込みを受け付けています。

\*「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクトとは・・・

珠洲市内の各家庭に眠る農具や漁具、工芸品や祭礼の道具など、眠ったままの“地域の宝”と、その思い出や記憶を集め、整理し、美術作家、映像作家、建築家などのアーティストが加わって、珠洲の歴史や文化が感覚的に伝わる劇場型の民俗博物館のようなアート作品として、旧西部小学校体育館に展開するプロジェクト。



### 取材・広報についてのお問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局 担当：灰庭、小菅  
〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13部120番地1（珠洲市奥能登国際芸術祭推進室内）

TEL：0768-82-7720（当日の連絡先：090-3293-9019） FAX：0768-82-7727

E-mail：press@oku-noto.jp

公式WEBサイト oku-noto.jp

Facebook <https://www.facebook.com/okunotojp>

Twitter <https://twitter.com/okunotojp>

instagram <https://www.instagram.com/okunotojp>

